

定期報告

2011年5月12日

天候:曇り後雨

温度:22°C

湿度:52%

風:弱風

放射線量:0.10 μ Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝:トースト・スパム・コーンスープ・リンゴ

昼:ご飯・サバの缶詰・漬物・ソバ・リンゴ

夜:炊き込みご飯・モヤシ炒め・漬物・味噌汁 味見のエスニック風味のラーメン3種

氏名:石崎仁(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

0:17 地震です。揺れを感じてはっと目が覚める。

その後、津波・原発問題あれこれと考えていたら2時を過ぎてしまった。

3:20 やや大きめの地震で再び起こされた。

先ほどより随分強く感じて身構えたが、おさまってきた。

八戸でもそうであったが、地震恐怖で寝付けないだけでなく、動悸がしたり、頭痛したりといろいろな症状を訴える方がいる。

これほどの被害があったところはなおさらであろうと思う。

ゴロゴロしていたが、いつの間にか寝ていたようだ。

5:10 当直を担当されていた松原医師より急患の連絡があり、保健室にある診察室へ。

喘息患者で発作があるための受診だと伝えられた。

救急処方での吸入剤、患者さんに説明して薬をお渡した。

6:30 朝食

7:00 朝のミーティング、状況確認を兼ねて外で行う。

異臭がする。道端の土砂に埋もれた魚が腐って悪臭を放つのだろうか。

もっと暑くなってくれば、さらに激しくなり眼や鼻・喉を容赦なく攻撃するであろう。

生徒・学生、避難生活を余儀なくされている方々、また復興に向けて活動されている方々の健康状態が心配になってくる。

少なくともマスクは必需品であろう。

8:45 朝のカンファレンス

大村保健師さんからの話

インフルエンザ等の感染症はなし、嘔吐処理について説明

オストメイト情報について質問、確認してもらえることになった。

9:00 診察開始

9:40 大槌町内視察に出掛けた。

- 工藤課長と佐藤係長と私の3名
城山体育館内視察及び館内のつくし薬局スタッフに挨拶
上町診療所、藤井医院、道又医院及び吉里吉里町の診療所など
- 11:30 大槌高校に帰着
- 12:00 昼食
食後の時間を惜しんで松原医師は、折り紙でコマを作成。
- 13:00 午後の診察開始
長野チームは上町診療所で診察のため出かけた。
昨日と違って、受診者は少なかったが、薬の受け取りに来る方が続いた。
子供さんが受診、松原医師からお昼作成の折り紙のコマがプレゼントされた。
とても喜んでいた。
- 16:00 診療終了
- 16:10 釜石での災害対策本部の会議に出発。
青森チーム全員で出かけた。
- 16:36 釜石災害対策本部に到着
- 17:00 災害対策本部会議開始
活動の各地から医療チームが集結
次第に救護施設の縮小が予定されている内容であった。
この大惨事、まだまだ縮小するには早すぎるようにも思える。
- 17:30 会議終了
- 18:00 大槌高校に戻り、弊社の総務担当が夕食の準備に腕を振るう。
- 18:30 青森チーム7名で4回目の食事・談話
エスニック風のインスタント食品3種類を少しずつ味見。
全部辛口で残りは私の胃の中にすべて流れ込んだ。
- 19:30 今晚は長野チームが当直当番。
- 20:00 車に荷物を取りに行った帰り、今回の被災から命からがら逃げてきたという
初老の方と話すことが出来た。
テレビやラジオ、新聞などで見聞きしていたが、被災者からの生の声を聞くと
改めて眼頭が熱くなるのを感じた。
- 22:00 消灯にて、本日終了。

氏名:肥後佳範(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床。寝不足。耳栓が必要と感じた。

6:30 食事をいただきながら松原医師チームと打ち合わせ。

7:00

ミーティングがてら周辺の散策。その日の青森チームの行動の確認。

においが以前と違い潮のにおいに腐敗臭のようなものが混じるようになったと工藤課長の言葉。今後のチームはマスク必須になるかもしれない。

町田社長がおっしゃられたように気温の上昇とともに発酵が進み、虫がわく可能性は十二分にある。川の流れは無く淀んでいる。虫さされなどの他に感染症のまん延に注意する必要性を感じる。

8:45 診療前カンファレンス。大槌高校では感染症の発症などなく申し送り事項の確認。

9:00 診療開始。

石崎取締役・工藤課長・佐藤係長の3人で大槌周辺の診療施設、避難所の視察。

肥後は長野・青森チームと調剤業務。

システムの再構築により前日より格段にスムーズに業務が行えた。

持参したお薬確認シートを患者さんの定時薬確認にも使用していただいた。

12:00 昼食をとりながら午後の行動の確認

13:00 長野チームは仮設診療所応援のため、午後は青森チームのみで診療。急性症状の患者さんの発生もなく、4次派遣隊への引継をスムーズに行えるよう倉庫の在庫状況を確認、不足分の発注作業などを行った。

17:00

診察終了。災害本部カンファレンスへ同行。

今後のつくし薬局の開局状況(しばらくは毎日開局を確認)

他避難所2, 3か所で感染性胃腸炎の発生がみられる。集団感染はしていないが、汚物処理など丁寧に行われていないと広がる可能性の確認。次亜塩素酸の在庫を再確認。

診療施設が徐々に再開しつつある、災害診療はなるべくさけて地元の医療機関へかかるよう患者を誘導する動きが活発化している状況。

18:30 夕食

20:00 明日の行動の確認をしながら談笑。

22:00 就寝

うれしかった言葉は、救護所で投薬した高校生が「薬剤師になりたい」と言ってくれたこと。前回からの青森チームの評判もとてもよく、投薬した方はみんな感謝の言葉を口にする。災害派遣への意義を感じた。

氏名:工藤源造(総務)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 ミーティング

8:45 診療所カンファレンス

9:00 診療開始

9:40 大槌町内視察

石崎薬剤師・佐藤係長・私3名にて開設診療所及び救護所を確認・状況調査を行う

11:30 昼食準備

12:00 昼食

13:00 午後の診療開始

13:30 大槌町内買物事情調査

仮設のスーパーや薬王堂が出来、買物の不自由は改善されている

16:00 診療終了

17:00 釜石災害対策本部ミーティング参加

18:00 大槌高校帰着 業務終了

大槌町内にも地元のスーパーや薬王堂が仮設の店舗にて営業が開始されており町民の生活が改善されてきて復興の力のすごさを感じました。被災地の片付けもかなり進んでおり一日でも早い復興を期待します。

氏名:佐藤栄(総務)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 ミーティング

8:45 診療所打ち合わせ

9:00 診察開始

9:45 石崎薬剤師と工藤課長同行で大槌町視察 診療所施設視察

11:30 昼食準備

12:00 昼食

13:00 午後の診察開始

13:30 現地の仮スーパーで販売品調査。物は少ないが揃って来ている

16:00 診察終了

17:00 釜石災害対策本部ミーティング

18:00 大槌高校到着 業務終了

大槌町に仮スーパーが出来てきて人々の生活も少しは改善に向かって来ているように思われます。